

（4 陳情第6号）

「デフリンピック東京開催を求める意見書」の提出を求める陳情書

【陳情趣旨】

2025年デフリンピックを東京で開催するよう、小金井市議会より東京都宛に意見書を提出することを求める。

【陳情理由】

2020東京オリンピック・パラリンピックが終了し、「デフリンピックを東京で」という招致の取り組みが始まっている。

大規模な聴覚障害者イベントの開催により、聴覚障害者への理解と社会参加が進むだけでなく、それを機に情報アクセシビリティの充実がされることにより、共生社会構築に寄与することが期待される。

2020東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの活用、首都としての国際的な知名度、スタッフ等の導入実績などから、東京は開催に適しており、経済効果も期待できる。

【部局発言】（太字部分読み上げ）

令和3年6月に書面開催されました、本市が加盟している全国手話言語市区長会（全国815市区中621団体が加盟・本市は設立した平成28年度から加盟）の令和3年度総会で配布された資料におきまして、令和3年2月19日、手話を広める知事の会（全国47都道府県が加盟）全国手話言語市区長会及び一般財団法人全日本ろうあ連盟の3者連名により、内閣総理大臣に宛てて、「2025デフリンピック日本開催に向けた連携・協力体制の構築」を求める旨を含む要望書を提出したことが記載されておりますことを参考にご報告します。

本市といたしましては、全国手話言語市区長会を通じた連携の下、福祉部門としてできること、必要なことがあれば、国や東京都の動向も踏まえつつ、適宜対応してまいりたいと思います。

※ 別途、教育委員会から、スポーツ振興部門としても推進していきたい旨の発言あり